

## 平成26年度 埼玉県農業水利審議会について

### 1 現在の委員について

平成24年11月7日に改選を行い、12名（県議会議員2名・市町村長1名・学識経験者6名・農業会議1名・土地改良区の理事1名・公募1名）の方に委嘱している。

任期は、平成26年11月6日まで。

#### <委員>（五十音順）

井上 直子 会長（葛西用水路土地改良区理事長）  
永瀬 隆弘 副会長（埼玉県農業会議副会長）  
新井 順子 委員（学識経験者 女性農業者）  
木村紀美子 委員（学識経験者 NPO法人水のフォルム会員）  
小林 哲也 委員（埼玉県議会議員）  
佐久間明子 委員（公募）  
高田 康男 委員（市町村長 川島町長）  
田中 久子 委員（学識経験者 女子栄養大学教授）  
谷内 功 委員（学識経験者 元北川辺町助役）  
中野 英幸 委員（埼玉県議会環境農林委員会副委員長）  
中村 好男 委員（学識経験者 東京農業大学教授）  
水上外美子 委員（学識経験者 埼玉建築士会相談役）

### 2 今年度の審議会について

(1) 開催日 平成26年10月15日

#### (2) 内容

前回審議会（平成25年11月）で、平成20年2月に知事へ答申された「力強い農業を実現するほ場整備のあり方について」に対していただいた御意見を踏まえ、地域の実情に応じたその土地独自の簡易な基盤整備地区、次世代への継承に向けた取組み等を行っている現地を視察いただき、御意見を伺った。

#### ア そうしんでん 惣新田地区（幸手市）

土地改良区が事業主体となり、地域の実情に応じた畦畔除去による区画拡大を図った現地を視察し、改良区職員や担い手の方から、事業実施にあたって検討した事項、今後の課題等について説明を受け、委員と活発な意見交換を行った。



#### イ 宮代町立笠原小学校（宮代町）

農業体験等を通じて子供たちに農業の素晴らしさを伝える「みどりの学校ファーム」の取り組みについて、小学校の方から説明を受け、その後、活動している農場を視察した。



## ウ 新しい村（宮代町）

「農」を知ってもらうための様々なイベントや講座、直売所などがある観光農園「新しい村」で、「畑で婚カツイベント」の概要や開催にあたって留意している事項、成果や課題等について、新しい村スタッフから説明を受け、意見交換を行った。



## エ 意見交換（宮代町 新しい村）

平成20年2月答申「力強い農業を実現するほ場整備のあり方について」を受けての県の取組みについて説明を行い、各委員から本日の現地視察等を踏まえ、委員の皆様が普段活動されている分野等の視点から御意見を伺った。



## 3 主な御意見について

- ・ 基盤整備のメリットは大規模農家に多いとの意見もあり、大規模農家や担い手から基盤整備を提案することは難しい状況にある。  
農地の集約化を政策的に進めるため、県がリードすることも必要ではないか。
- ・ 農業の魅力を伝えて子供達を育てる教育を視察させていただいた。  
農業者が育つまでには時間が掛かるため、実際に農業者になる方はまだ少ないようであるが、将来、日本の農業を守る子供たちが育ち、素晴らしい農業の国になるのではないかと感じた。
- ・ 地域の営農や基盤整備について、担い手の中からリーダーを発掘することが必要。  
行政においても、県と市町村が協力して担い手の中からリーダーを発掘し、支援することが必要と感じる。
- ・ 地域の状況は異なるのに、日本全国で画一的な施策を行おうとする事には問題があると思われる。
- ・ 米価低迷の中、土地改良区の自助努力により経常賦課金を下げる等、地域への還元を検討することも必要ではないか。
- ・ 地域で頑張る人に報いるような制度ができれば良いと考える。行政も縦割りではなく横断的に知恵を出し取り組んでいただきたい。

#### 4 調査・審議結果

前回及び今回の審議会において、各委員から出された、平成20年2月答申「力強い農業を実現するほ場整備のあり方について」に対する御意見等を踏まえ取りまとめを行った。

#### ○ 集合写真（新しい村）



#### ○ 集合写真（新しい村 村の集会所）

